環境経営レポート

株式会社　ハルナ工業

（対象期間：2022年 7 月～2023年 6 月）

2023年 8 月 25 日作成

目次

	頁
1.事業活動の概要	1
2.環境経営方針	2
3.環境管理実施体制	3
4.環境経営目標	4
5.環境経営目標の達成状況	5
6.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果と評価と次年度の取組	6
7.環境関連法規等への違反、訴訟等の有無	7
8.代表者による全体評価と見直し・指示	7

1.事業活動の概要

【1】 会社名　　株式会社　ハルナ工業

【2】 代表取締役　　永田　博孝

【3】 設立　　昭和 43 年

【4】 資本金　　1 千万円

【5】 事業内容　　精密板金加工

【6】 事業の規模　　年間売上高　　185百万円

社員数　22 名(2023年 6 月現在)

【7】 本社所在地　　神奈川県横浜市鶴見区駒岡2丁目8番53号

【8】 認証・登録対象範囲　　株式会社ハルナ工業
レポートの対象期間及び発行日　表紙に記載

【9】 審査対象規模　　延べ面積　　1224㎡

【10】 主要業務　　精密板金加工

【11】 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
(代表者)　　代表取締役　永田　博孝
(環境管理責任者)　　春山　英範
(同連絡先)　　045-574-0531

2.環境経営方針

環 境 経営方 針

株式会社ハルナ工業は『地球環境と調和』を基本理念とし、板金事業を通じて資源循環型社会の実現に寄与し、環境にやさしい社会作りに貢献する。

また、日常の事業経営において自然環境との共生、地域との融和を目指した経営を推進する。

１．事業経営に伴う騒音の汚染等の環境影響を的確に把握し適切な環境目的・目標を設定し実行する。また、定期的な見直しにより経営の結果を確認し継続的な改善を図る。

2. 環境関連法令・条例・ならびに地域行政等の取り決め事項を遵守し、自主基準・規定による管理を実施する

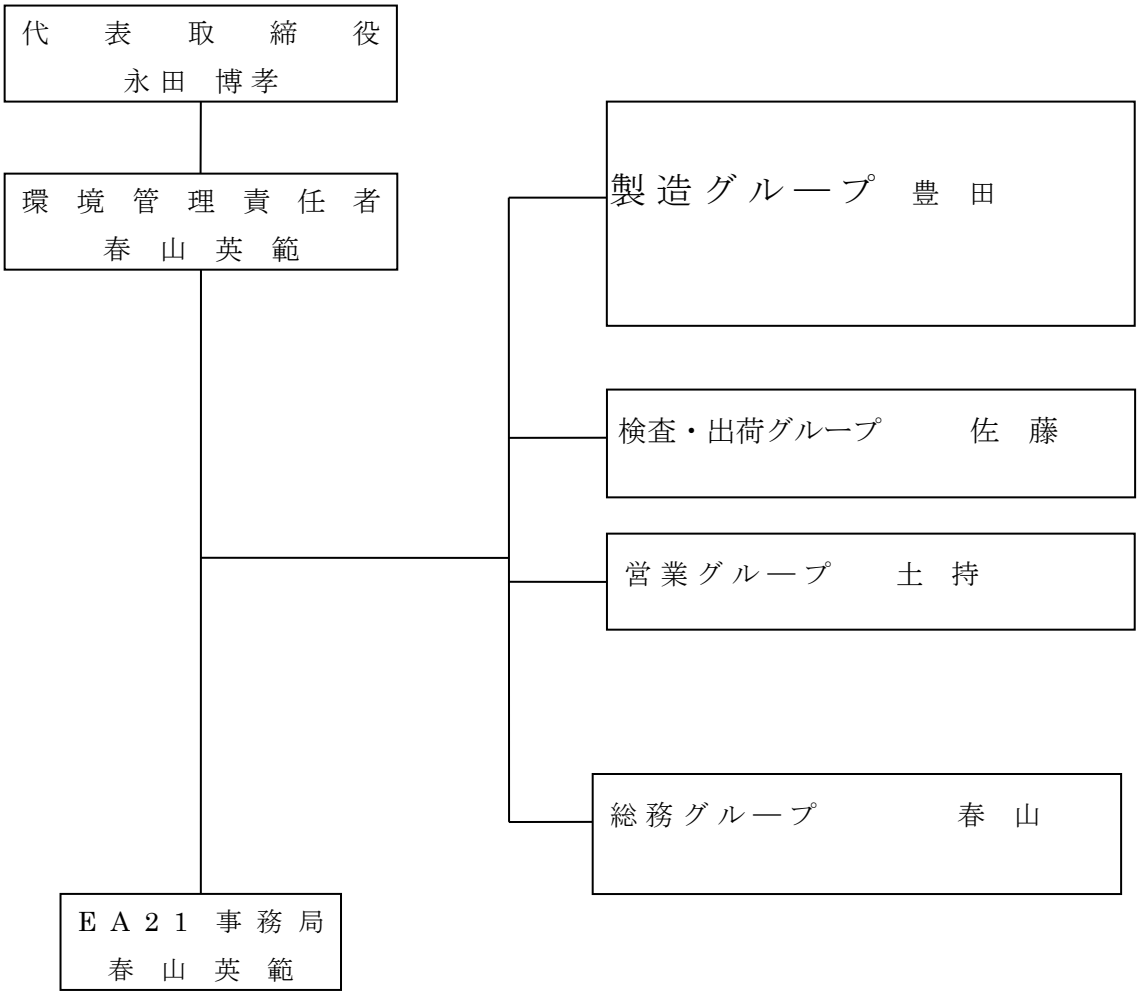
3. 省エネルギー・省資源・リサイクル及び廃棄物の低減等、地球環境に配慮した事業経営を推進し、廃棄物の再利用を徹底的に追及し資源循環型社会の実現に貢献する。

4. 自主的な環境保全を推進するため環境管理組織を確立し維持すると共に、従業員・協力会社関係者の環境意識高揚のため環境に関する教育・啓蒙活動を積極的に実行する

5. 環境方針は文書等により従業員・協力会社関係者に周知徹底し維持する。また、社外に対しても文書等を持って開示する。

２００７年10月１日　制定
２０１８年　7月１日 改定
株 式 会 社 ハ ル ナ 工 業
代表取締役　永 田 博 孝

3.環境管理体制



2015.05.01 改定

〈責任及び権限〉

代表取締役	・環境方針の策定　・環境管理責任者の任命 ・実施体制の構築 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	・環境経営システムの構築及び運営 ・順法の取りまとめとチェック
EA21 事務局	・環境管理責任者の補佐 ・各文書作成、コピー、保管
各担当者	・環境経営目標の実行と継続的改善 ・達成できているかの確認、報告

22-7～23-6年 環境経営目標

承　認	作　成

作成年月日：2023/7/30

No	環境方針項目		基準値（2022年度実績）	CO_2 排出係数	年度目標 2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力ｴﾈﾙｷﾞｰの削減	電力使用量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			10,643 kWh／年	0.491	10,537 kWh／年以下	10,430 kWh／年以下	10,324 kWh／年以下
			5,226 kg-CO2／年		5,173 kg-CO_2／年以下	5,121 kg-CO_2／年以下	5,069 kg-CO_2／年以下
		化石燃料使用量の削減	油種別消費量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			灯油 〈L／年〉 648	2.492	642 L／年以下	635 L／年以下	629 L／年以下
			都市ガス〈Nm^3／年〉	2.108	0 Nm^3／年以下	0 Nm^3／年以下	0 Nm^3／年以下
			LPG 〈kg／年〉 51	3.002	50 kg／年以下	49 kg／年以下	49 kg／年以下
			ガソリン 〈L／年〉 3,547	2.322	3,512 L／年以下	3,476 L／年以下	3,441 L／年以下
			軽油 〈L／年〉 0	2.624	0 L／年以下	0 L／年以下	0 L／年以下
			10,001 kg-CO2／年		9,901 kg-CO_2／年以下	9,801 kg-CO_2／年以下	9,701 kg-CO_2／年以下
		計（kg-CO_2）	15,227 kg-CO_2／年		15,075 kg-CO_2／年以下	14,922 kg-CO_2／年以下	14,770 kg-CO_2／年以下
2	廃棄物排出量の削減	紙使用量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			7,335 枚／年		7,262 枚／年以下	7,188 kg／年以下	7,115 kg／年以下
		梱包材の削減	梱包材使用量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			2,495 枚／年		2,470 枚／年以下	2,445 kg／年以下	2,420 kg／年以下
		金属くず等の削減	金属くず		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減
			22,010 t／年		21,790 t／年以下	21,570 t／年以下	21,350 t／年以下
3	総排水量の削減	上水の使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 0 %削減	基準値に対し 0 %削減	基準値に対し 0 %削減
			237 m^3／年		237 m^3／年以下	237 m^3／年以下	237 m^3／年以下
4	化学物質使用量削減	化学物質安全管理	化学物質使用量		基準値に対し 0 %削減	基準値に対し 0 %削減	基準値に対し 0 %削減
			128.0 L／年		128.0 L／年以下	128.0 L／年以下	128.0 L／年以下
5	環境教育・保全	周辺整備・清掃の実施	整備・清掃回数		基準値に対し %向上	基準値に対し %向上	基準値に対し %向上
			3 回／週		3 回／週以上	3 回／週以上	3 回／週以上
6		工場見学受入れ	受入れ回数		基準値に対し %向上	基準値に対し %向上	基準値に対し %向上
			3 回／年		3 回／年以上	3 回／年以上	3 回／年以上

注）二酸化炭素排出係数は東京電力の平成25年度実績の0.491kg/kWhを適用した。

環境目標の達成状況（2022年度）

No	環境方針項目		基準値	達成状況			
				目標		実績	達成度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力ｴﾈﾙｷﾞｰ量の削減	CO_2排出量	基準値に対し	3.0 %削減	7.5%	
			5,651	5,481		5,226	○
			kg-CO_2／年	kg-CO_2／年以下		kg-CO2／年	92.5%
		化石燃料使用量の削減	CO_2排出量	基準値に対し	3.0 %向上	1.5%	
			9,850	9,901		10,001	○
			kg-CO_2／年	kg-CO_2／年以下		kg-CO2／年	101.5%
2	廃棄物排出量の削減	紙使用量の削減	紙使用量	基準値に対し	3.0 %削減	-38.1%	
			12,686	12,305		17,522	×
			枚／年	枚／年以下		枚／年	138%
		梱包材の削減	段ﾎﾞｰﾙ使用量	基準値に対し	2.0 %削減	19.5%	
			3,100	3,038		2,495	○
			枚／年	枚／年以下		枚／年	80%
		金属くず等の削減	金属屑発生量	基準値に対し	3.0 維持	-0.1%	
			22,010	21,349		22,030	○
			t／年	t／年以下		t／年	100%
3	水使用量の削減		水道使用量	基準値に対し	0.0 %削減	0.0%	
			237	237		237	○
			㎥／年	㎥／年以下		㎥／年	100.0%
4	化学物質使用量の削減		化学物質使用量	基準値に対し	0.0 %削減	0.0%	
			128	128		128	○
			L／年	L／年以下		L／年	100.0%
5	周辺整備・清掃の実施		j実施回数	基準値に対し	0.0 %向上	-2.1%	
			144	144		147	○
			回／年	回／年以上		回／年	102.1%
6	工場見学受入れ		j実施回数	基準値に対し	0.0 %向上	0.0%	
			3	3		3	○
			回／年	回／年以上		回／年	100.0%

注）二酸化炭素排出係数は東京電力の平成25年度実績の0.491kg/kWhを適用した。

※達成度は基準値との比較

6.環境経営目的及び環境経営計画の実施・取組とその評価と次年度の取組

環境目標項目		取組項目	取組内容	評価	次年度の取組内容	取組継続担当者
二酸化炭素排出量	電力エネルギーの削減	空調の適温化の徹底	・暖房温度は２１℃で設定 ・冷房温度は２８℃で設定	○	・空調の使用方法で更に削減を目指してみる	省エネタイプに変更管理
		照明の適正管理	・照明スイッチ適正管理 ・未使用設備類の電源ＯＦＦ等	○		工場
			・照明の LED 更新により電力削減が図れた	○		管理
	化石燃料使用量の削減	エコドライブの励行	・法定速度遵守 ・空ぶかし禁止	○	・引き続き燃費向上に努める。実績により今後は目標を見直す。	運転手
		定期的車両点検整備	・定期的車両点検実施(タイヤの空気圧、バッテリー、ランプなど)を行い燃費の向上を図る。軽油車両はガソリン車に変更した無事により増加	○		運転手
廃棄物排出量	廃棄物排出量の削減	紙使用量の削減	・両面印刷 ・裏紙の利用	○	・厳しく成って来ているが、次年度も継続する	全員で努力している。営業
		梱包資材の削減	・包装材の削減 ・梱包の削減	△		検査
		金属屑の削減	・不良製品の削減	△	・金属屑は月平均出し平均産廃率を求める	不良品が多発工場
総排水量	上水使用量の削減	節水の工夫	・元栓の取り込み ・節水表示の推進	○	・継続して節水に努めろ	管理
		トイレ洗浄水の削減	・洗浄水の使用量の適正化	○		工場
化学物質		化学物質使用量の削減	・化学物質安全管理 ・ベンジン使用量の削減	○	・次年度も増加させない様にする。	検査
環境教育・保全	従業員の環境意識の向	地域の環境整備	・周辺整備 ・周辺清掃	○	・週３回は今後も継続している	工場
		製品材料の情報把握	・材料等の規制物質の把握	○		検査

7. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

1. 遵守状況をチェックした結果、環境関連法規等の違反はありません。
2. 関係当局からの違反等の指摘は過去 3 年間ありません。

－ 環境関連法規一覧表 －

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
・家電リサイクル法
・高圧ガス保安法
・自動車リサイクル法
・フロン排出抑制法
・RoHS 指令

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

見直し対象期間　2022 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日
実施日　　2023 年8月25 日
実施者　　代表取締役　永田　博孝
使用資料　　環境経営計画内容と実績、各種活動実績表

総括的見直し	変更の必要性の有無	
環境経営方針	有	(無)
環境経営目的及び環境経営計画	(有)	無
実施体制	有	(無)

エコアクション 21 導入から 16 年経過し、初期から行ってきた項目についての削減目標達成が難しくなってきている部分もあるが、今回の電力削減の達成のように見方を変えさえすれば削減可能な項目はまだあると環境管理責任者に指示を出す。

全ての電気製品が古い為、消費電力が下がらないので蛍光灯を LED に変えたり、古いエアコンを最新の物に変えております。

金属屑は今回で指標が出来ました。購入平均と廃棄平均となるが、社内で取組める部分は材料歩留まりと不良製品による無駄な材料の削減となると報告を受けている。

年月が経ち厳しい部分もあるとは思うが引き続き一人一人の工夫を行い削減目標達成を目指したい。

以上